

ひがしむらやまふくし えん
東村山福祉園だより



みち
道

平成26年 9月
発行：
(社福) 東京都社会福祉事業団
東京都東村山福祉園
TEL 042-343-8141
Fax 042-343-8145

メール mail@higashimurayama-f.org ホームページ <http://higashimurayama-f.org>

第39回 東村山福祉園祭のご案内

日時 10月18日(土) 10時～15時(雨天決行)

テーマ 《みんなで広げよう 地域の輪》

内容 * 絵画作品の展示 (作品展入選多数)

* メインステージ (エイサー、ダンス、ジャグリングなど)

* 模擬店 (生活棟・家族会・地域の作業所ほか)

美味しいカレーや焼きそば、昔懐かしい「たんぽぽコーヒー」が復活!

* フリーマーケット (雨天中止)、作品・カレンダー販売等

* 東村山市社会福祉協議会のゆるキャラ「ぼんたくん」も来ます。

* 葛西臨海水族館からヒトデ・ナマコがさわられる移動水族館も来ます。

皆様どうぞお誘い合わせのうえご来園ください。なおご来園の際は、できる限り公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

生活介護事業 (日中活動) について

26年度の生活介護事業 (日中活動) について、紹介します。今年度は、昨年度の活動をベースに、これまで以上に利用者のニーズや障がい特性に応じて楽しんでいただけるよう、創意工夫した活動プログラムを提供させて頂いております。具体的には、基本となる9つのエリア活動と、体育室活動等 (講師活動含めた) 10の活動を組み合わせて参加していただいています。今回は、利用者の皆様と一緒に考えた、エリア活動の新活動名とコンセプトの御紹介をしたいと思います。

- ① **エコ活動なごみ**: 強度の行動障がいを抱えているために、これまでなかなか活動に参加できていなかった利用者の方を対象として、ペットボトルや雑誌の回収を行うプログラムです。わかりやすい活動、上手に時間を過ごせる活動を目指しています。
- ② **すまいるガーデン**: 自閉性障がいを抱えている方を対象に、棟庭で園芸を通して楽しくからだを動かしていただける活動を目指しています。(次ページへ)





- ③ **すてっぷ:** ハーブガーデンでの園芸活動は、広い敷地での活動を好まれる利用者の方を中心に活動をおこなっています。野菜の成長や収穫を通して畑仕事を楽しむことを目指しています。
- ④ **ほのぼのリラックス:** 日頃体を動かす機会の少ない方を対象として、利用者の方の体調に配慮しながらストレッチ・マッサージ・リラクゼーションを行っています。身体機能の維持向上を目指すプログラムを提供します。
- ⑤ **わく♥わく体操:** 身体を動かす事が大好きな利用者の方を中心にグループを構成し、健康体操・アロママッサージを行っています。体を動かしながら楽しめるプログラムの提供を目指しています。
- ⑥ **のどか:** 音楽を聴く事と身体を動かす事が好きな利用者の方を中心にグループを構成し、マッサージ・ウォーキング・スヌーズレンを行っています。お好きな音楽を聴きながら、体を動かせるプログラムの提供を目指しています。
- ⑦ **いやしの空間:** 健康面に配慮しつつ、日中穏やかに過ごされることを好まれる利用者の方を中心にグループを構成し、ラジオ体操・リラクゼーション・マッサージを行っています。心身ともにリラックスできる活動プログラムを提供を目指しています。
- ⑧ **かみ工房:** 単純な作業を繰り返し楽しめる方を対象として、和紙作り行程前半部分の牛乳パック回収・ラミネートはがしの作業を行っています。これまで長年培ってきたリサイクル活動の経験を生かした活動となっています。
- ⑨ **のびのびワーク:** 長い時間座って作業活動が行える方を対象として、ポップリ、ビーズ等の各種製品作りや、和紙作り後半作業の和紙鋸きをおこなっています。お一人お一人の方が得意な作業を交えた活動をし、利用者の方が楽しんで製品作りができる活動を目指しています。



以上9活動の御紹介をしました。次回は体育室活動を中心に、講師の先生の紹介を交えて活動内容のご紹介をしたいと思います。(サービス第一係 杉山)

せいじんどう がいしゅつ 成人棟バス外出



昨年度までは各棟別にバス外出を企画していました。しかし、各棟別でのバス外出ですと、棟で生活されている16名の利用者様全員の希望に沿った外出をすることは困難でした。そこで、今年度はより利用者様の希望に沿った外出ができるように、事前に利用者様のご希望をとらせていただきました。その結果に基づいて担当者で年間のバス外出の計画を立案し、今年度は各棟別にバス外出をするのではなく、成人棟全体でバス外出をすることになりました。そうすることで、利用者様一人ひとりの希望に沿ったバス外出をすることが出来るようになりました。



5月には航空公園に行きました。当日は天候にも恵まれ、公園内の散策を楽しませていました。6月はイオンモールむさし村山に行きました。ショッピングモール内では4つのグループに分かれて、利用者様は思い思いのショッピングや食事を楽しませていました。7月は山梨県に桃狩りに行きました。桃狩りは食べ放題でしたので、中には職員が桃の皮を剥くのが追いつかないくらい沢山召し上がっている利用者様もおられ、桃狩りを満喫されていました。これからも利用者様一人ひとりのご希望に沿った外出ができるよう支援してまいります。(サービス第三係 手嶋)



「出張！おやつクッキング」

平成26年6月18日(水)に「出張！おやつクッキング」を行いました。調理員が腕を振った手作りおやつを、園内の野外スペースに椅子やテーブルを用意し、お祭りのような雰囲気で提供しました。

「出張調理」は、通常は調理員がお部屋ごとに出向き、利用者様の前で料理をし、出来立てと香りを楽しんでいただくサービスです。今回の「出張！おやつクッキング」は新しい試みで、喜んでいただけるか心配でしたが、職員の協力もあり、混乱なく楽しい時間を過ごすことができました。来ていただいた方には調理員と職員が取り分けて手渡しします。

「手作りのプリンとあんみつどちらがいいですか?」「両方でもいいですよ~」「黒蜜はかけますか?」と声を掛けると、何度もおかわりにきてくれたり、握手で喜びを表現してくれたり、笑顔がたくさん見られました。(管理課事業推進係 清水)



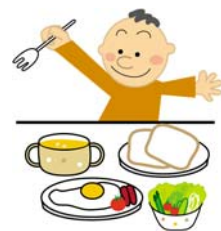
「栄養ケアマネジメント」

26年4月より、保護者の皆様のご協力をいただき、栄養ケアマネジメントを実施しています。これは、利用者ひとりひとりの栄養、健康状態の維持や食生活の質の向上を図ることを目的としています。対象は、入所されているすべての利用者様となります。

(次ページへ)



管理栄養士、職員、看護師、医師が協働し、栄養ケアマネジメントを行う体制を整え、必要に応じて外部専門医師との連携も図ります。管理栄養士と職員は関連職種と連携し、食事形態や、食事についての課題、嚥下状態、嗜好等他、体重の増減、栄養状態のリスクを把握し栄養ケア計画を立てます。それらの計画に基づき、より一層きめ細やかな支援を行うことにより、利用者の皆様の健康を支えています。(管理課事業推進係 清水)



エキスパート養成研修（事務局共催）を開催しました

東村山福祉園では、強度行動障害に関する専門的な支援についての習得及び将来的な役割を担える人材の育成を目的として、平成25年度から強度行動障害に対するエキスパートの養成に取り組んでいます。

6月20日には、強度行動障害の概念の成立から援助論の整備に至るまでの中心的な役割を果たした元弘済学園園長の飯田雅子さんをお迎えして、「強度行動障害の取り組み」をテーマとした研修を事業団事務局と共催で開催しました。

他の法人にも広く参加を呼びかけたところ、東京都知的障害者育成会さんや正夢の会さんなどからも大勢参加していただき、当日は、70名を超える方々で大会議室がほぼ満杯になる大盛況でした。事業団事務局からは、杉村栄一理事長が駆けつけてくださいました。

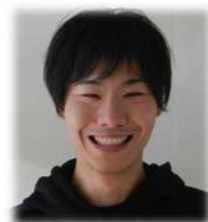
「一番困っているのは支援者ではなく利用者さん本人です。」等々、講師の一言一言に、これまで最前線で強度行動障害に向き合い、粘り強い取り組み・実践を進められてきた講師の熱い思いが込められているようでした。研修終了後も、講師の周りを囲むように質問する支援者が後を絶ちませんでした。(福祉サービス課長 外川)



職員紹介

サービス第二係 放上 嘉成さん

本年度より契約職員として東村山福祉園に配属されました。2棟の元気いっぱいな子どもたちと毎日楽しく過ごしています。子どもたちの笑顔にこちらが元気をもらっています。仕事上で不安なことやわからないことは先輩方に教えていただきながら、利用者の方へのよりよい支援の方法と一緒に考えています。まだまだ未熟者ですが、利用者の方の気持ちや個性に寄り添えるよう努めていきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。



サービス第十係 松元 太二郎さん

今年4月から10係に配属されました。日々、様々な出来事に驚き、その度に「支援とは何か」を考えさせられます。大学生の頃に学んだものと現場とのギャップに翻弄されながらも、先輩職員に教わり、なんとか頑張っています。利用者との関わり合いのなかで、「否定的でなく、ポジティブに関することを意識しています。利用者である前に、一人の人間としての関係を大切に、支援を送りたいです。」

